

4 農・畜産・水産業の振興

主担当部局(長)名
農林部長 山本 尚

目指す姿

農業・畜産業・水産業と農村が持つ資源を最大限に発揮させることにより、奈良らしい農・畜産・水産業の振興と農村の活性化を図ります。

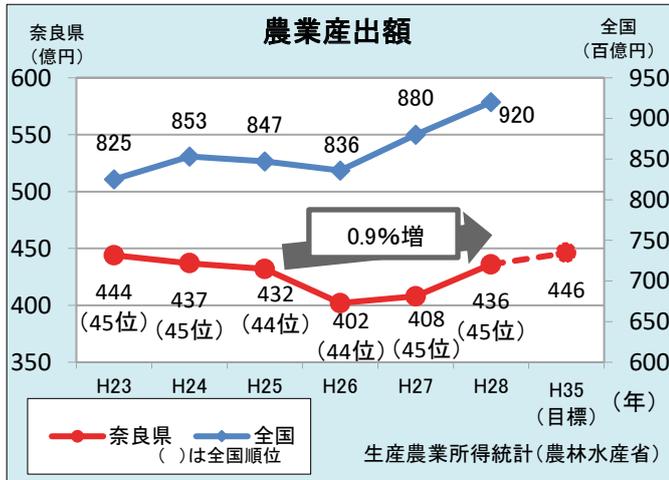


百貨店で販売されるプレミアム品イチゴ

主な成果

- ・平成28年1月に東京白金台にオープンした奈良の「食」と「魅力」の発信拠点である「ときのもり」のレストラン「シェル エソル」が、2年連続でミシュラン一つ星を獲得しました。(平成30年度 県産食材の魅力を紹介するトークイベントを通じて、引き続き奈良の「食」と「魅力」の情報発信を実施)
- ・新規就農者の確保や、高品質生産への支援等の取組により、平成28年の農業産出額は436億円と、前年より28億円増加しました。
- ・平成28年4月に開校した「なら食と農の魅力創造国際大学校」(NAFIC)のアグリマネジメント学科で第1期生が卒業し、そのうち11人が新規就農(自営就農8人、雇用就農3人)しました。(平成30年度 第2期生18人が卒業予定)

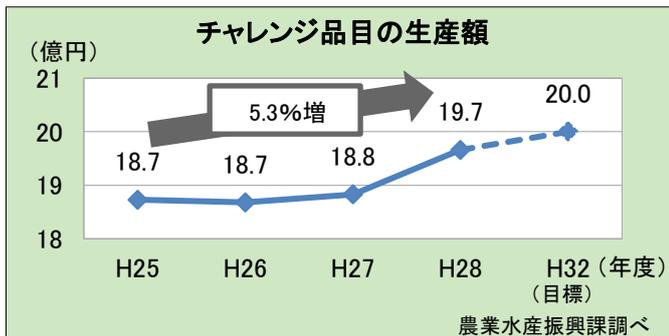
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成35年までに、農業産出額を446億円に増加させます。(H25年:432億円)
成果	新規就農者の確保や、高品質生産への支援等の取組により、全国的な米価の回復に加え、野菜、果実の産出額が若干増加したことで、平成28年の農業産出額は436億円と、前年より28億円増加しました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①平成31年度までに、首都圏での大和野菜を取り扱う仲卸業者を19業者に増やします。(H24年度:3業者) ②平成32年度までに、チャレンジ品目(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り枝花木、有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ)の生産額を20億円に増やします。(H25年度:18億円) ③農業の新規就業者を毎年60人増やします。(H18年度からH25年度の平均:33人)
------	--



目標	平成32年度までに、チャレンジ品目(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り枝花木、有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ)の生産額を20億円に増やします。(H25年度:18億円)
成果	試食等の食材活用のPR活動により大和野菜等の知名度を向上させるとともに、高品質安定生産に向けた技術の普及に努めた結果、平成28年度のチャレンジ品目の生産額は19.7億円と、前年度より0.9億円増加しました。